

創刊150号記念特集

ひたちなか市で料理学校を主宰する根本さん。郷土料理、和・洋・中華、お菓子、病院食など各種料理に精通し、また、「食育」、食材と身体



茨城県クッキングスクール協会会長 根本 悦子さん(右) 聞き手・鈴木徳徳情報委員

の食は健康の源。そのすばらしさを皆に伝えたくて「この道へ。江戸時代に那珂湊にあった水戸徳川家の別邸(賓館)といひんかく)ゆかりの料理として、各種文献を基に、「賓館御膳」を創作し、注目されました。

「食は心と体の『心体文化』です。食の習慣や

伝統を守ること、郷土を守り、文化を守ること」と語る根本さんは、現在の食の状況に危機感を抱いています。「家庭で食の伝統や歴史が伝えられなくなっています。昔は家の中の祖母とか両親が教えてくれましたが、今の家庭の中には家族バラバラの『個族』の状況さえ見られます」

心と体・食の文化を伝達して

各界、各地域の代表の方々に「県議会に期待すること」をテーマに、自らの活動の様子

県議会に期待すること

インタビュー&メッセージ

や仕事への取り組みなどを交えながら、語っていただきました。市民生活向上のための都市整備、地域振興、歴史や文化の継承、子供たちへの食文化の教育、県域テレビの活用など、多岐にわたって貴重な提言をいただきました。

メッセージ

放送通じ議会の情報提供を



NHK水戸放送局局長 平 逞仁さん

NHK水戸放送局は、昨年10月茨城県域テレビ・NHK水戸デジタルテレビジョン放送を開始

し、県民の皆様は、夢をようやく実現することができました。県議会をはじめ茨城県、政財界

など、県民の皆様は、思いと蓄々と積み重ねてこられた粘り強い活動こそが、茨城県に「テレビ新時代到来」をもたらすことができた原動力であったと思っております。たいへんありがとうございます。

ご尽力されておられます。私も、放送を通して、このような県議会の活動や行政情報などをきめ細かく提供し、県民の皆様が県議会や行政に対する理解と関心を深められ、より一層身近なものと感じられるよう努力をさせていただきます。

「身近で、頼りにされ、信頼される」地域社会の情報ステーションをめざしていく所存でございます。おわりに、地上デジタルテレビの普及促進についてもご理解とご支援をいただきますようお願い申し上げます。

県議会の仕組みと役割

①議員が集まって県の仕事の進め方などを話し合うところが県議会です。県議会には定例会と、必要があるときに開かれる臨時会があります。定例会は通常2月、6月、9月、12月の年4回開かれます。



茨城県議会議事堂



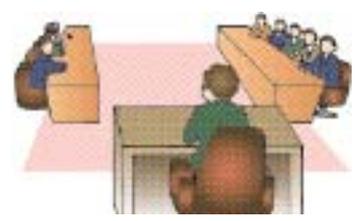
②議長、副議長とも議会の選挙によって選びます。議長は議会の運営について大切な役目を持っています。全議員が集まって開く会議を本会議といい、議員または知事から提出された議案は本会議にかけられます。議員は議案や県の仕事について質疑や質問を行います。



本会議場



③議員は本会議のほかに、いくつかのグループに分かれ、詳しく話し合います。これを委員会といいます。委員会では、議案や県民のみなさんから提出された請願などについて、いろいろな角度からよく調べ、その結果を本会議に報告します。



④議案などの審議が十分に尽くされた後、賛成か反対かを多数決で決めていきます。なお、会期中に審議不十分で採決できないときは、次の定例会まで所管の委員会で継続審査されます。



⑤知事などの執行機関は、議会で決定したことを基に、住み良い茨城県をつくるために仕事を進めていきます。

